

中間支援組織として  
つながりの社会を共につくる

2013.4.3

つなぎ、つむぎ、つくりだす **CoCoT**

特定非営利活動法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク



# 伝えたいこと

- 今、CoCoTはどんな状況か？
- 1. 経営の状態
- 2. 松戸市との関係
- 3. 目指しているもの

# ともに作る職場

職場で働く事が  
社会貢献になるNPO法人でありたい★

社会的使命に誇りを持って  
自分の意思で 責任ある仕事のできる職場で  
ありたい★

# NPO法人CoCoTとは

地域に住む人々が、自己決定力と課題解決能力をもつ地域社会の形成を目指す。

- ・市民、NPO、行政、事業者など地域の各主体の協働をコーディネーション
- ・市民活動の支援
- ・担い手となるコーディネーターの育成に取り組む。

設立	平成18年 5月 1日				
理事	7名	会員	正会員17名 準会員10名	職員	17名
事業規模	31,336,346円(平成23年度決算)				
事業内容	○平成23年度の主な事業 ■東日本大震災復興支援事業【自主事業】【助成:公益財団法人三菱商事復興支援財団 社会福祉法人中央共同募金会 財団法人JKA】 ■ボランティアコーディネーター育成講座【委託:千葉県】 ■地域見守り連携事業【委託:財団法人ニッセイ聖隷健康福祉財団】 ■NPO活動交流推進事業【自主事業】 ■まつど市民活動サポートセンター管理運営【指定管理:松戸市】 ■まるごと松戸ファンド(松戸市内NPOへの助成)【自主事業】				

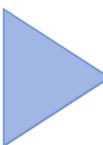
# NPO法人CoCoTの主な活動内容

## 社会的事業に取り組むNPO



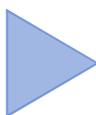
NPOや地縁組織との協働事業  
自治体や企業との補助事業  
国や自治体の委託事業

## 市民のエンパワースメントと地域活動の支援



ネットワークの事務局運営  
資金面の支援「まるごと松戸ファンド」の運営  
市民のエンパワースメント講座

## 市民活動団体の活性化の支援



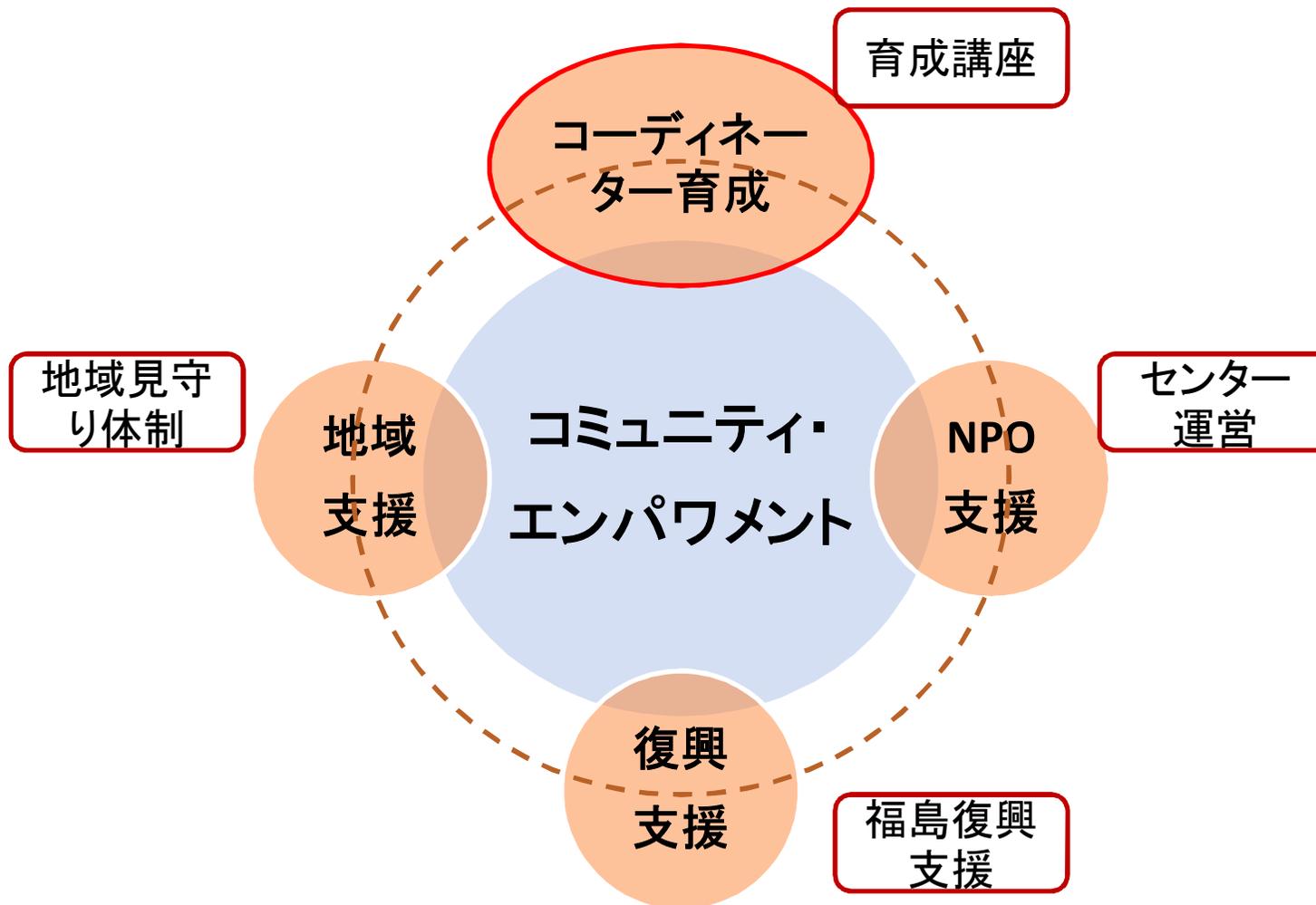
「まつど市民活動サポートセンター」指定管理者受託

## ◆中期ビジョン

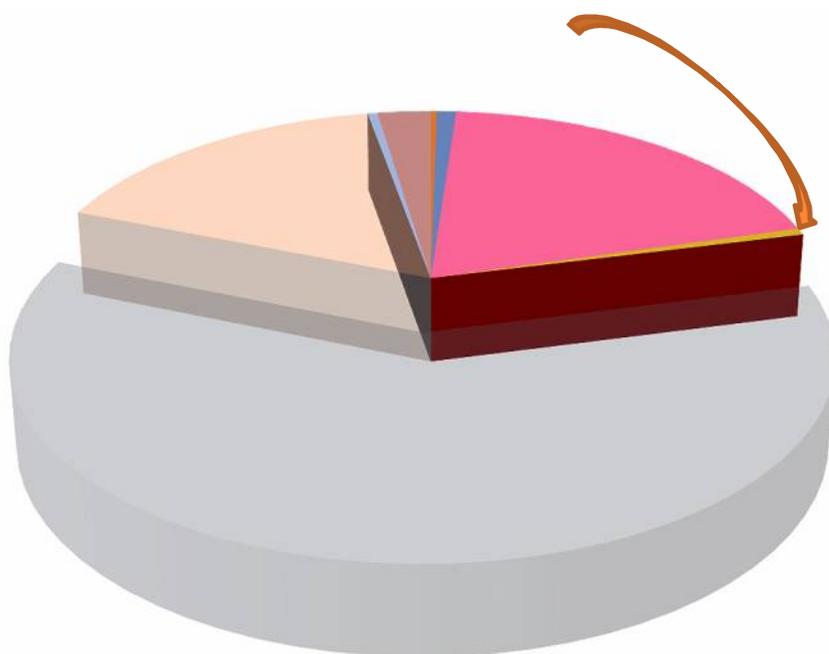
地域の主体が協働して地域課題の解決に取り組み、その道筋をつけ継続して活動できる支援をします。

- 解決の実現に向けて、主体を育成し、資金を調達する仕組みを作ります。
- その担い手であるコミュニティ再生をサポートする「コミュニティコーディネーター」を積極的に育成します。
- 市民活動団体やNPOなど非営利組織が、組織の永続的維持ができるような地域課題解決に取り組むファンドを創設します。

# CoCoTの事業構造

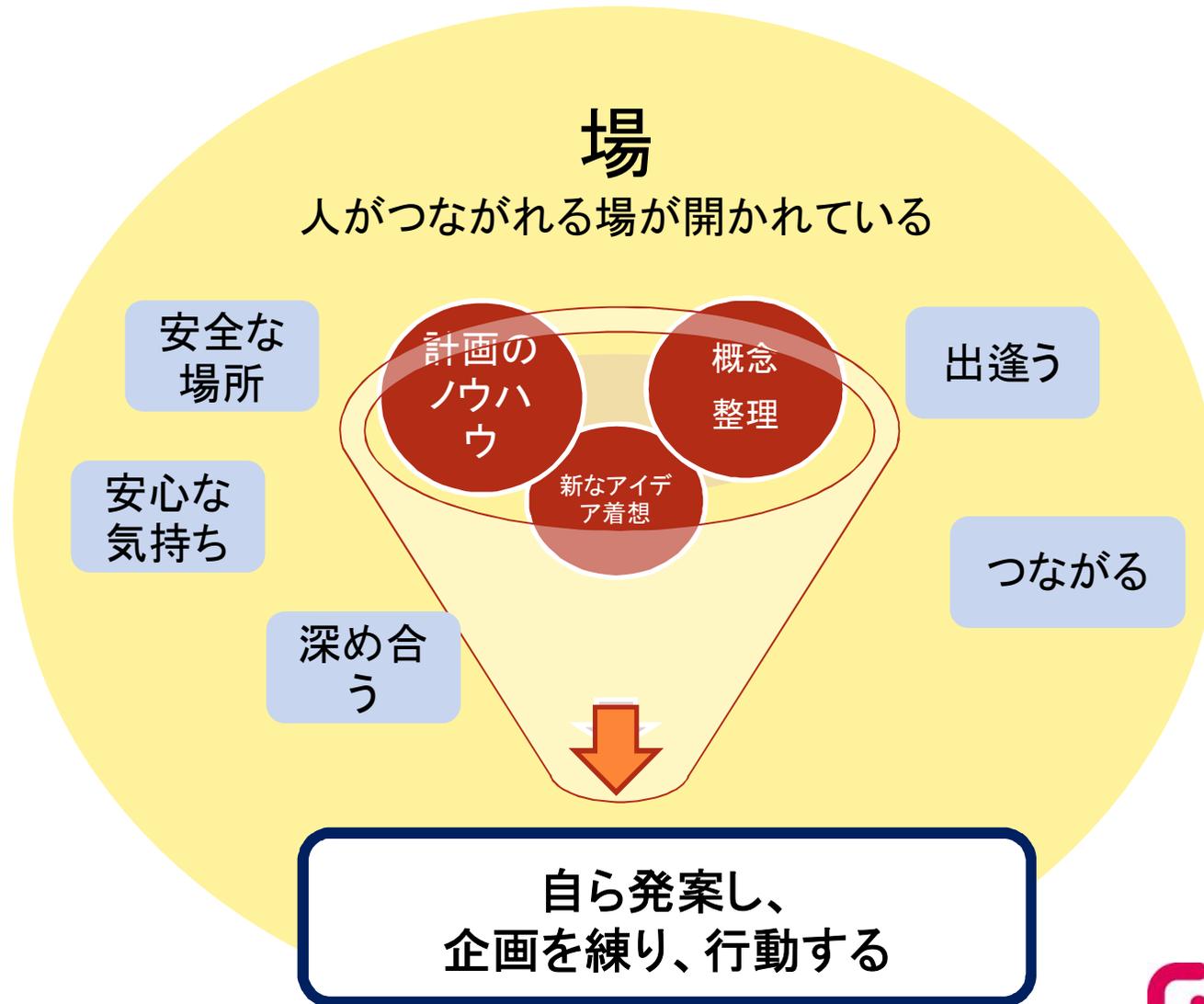


# 事業費のバランス



- 0.3% 事業収入 (非営利)
- 0.9% 寄付金収入 (非営利)
- 19.4% 助成金収入 (非営利)
- 0.5% 会費収入 (非営利)
- 59.8% 指定管理事業
- 16.2% 委託事業
- 0.4% 事業収入 (収益)
- 2.4% 助成金収入 (収益)

# 開かれた場をつくる



【CoCoTの事業の紹介1】

# 高齢化率60%のまち



- ・千葉県松戸市
- ・都市再生機構 梨香台団地
- ・総戸数 963戸
- ・入居戸数 850世帯
- ・居住者数 1,297人

# 地域資源は人のつながり

## 3.11 震災 発生

SCの立ち上げ相談が  
きっかけ。

自助組織を立ち上げ  
よう！

- ・古い高層団地のリスク
- ・地域とのつながりの薄さ



## NPO法人アイ ギス誕生！

1. 法人格取得の支援
2. 助成金獲得の支援
3. 組織運営のサポート

# CoCoTが運営支援をしています！

自分たちで立ち上げたサロン

コーヒー1杯150円  
生鮮食品の販売  
生活必需品の販売  
買いもの代行



折り紙教室やお茶会  
の開催  
あんしん電話の  
勉強会

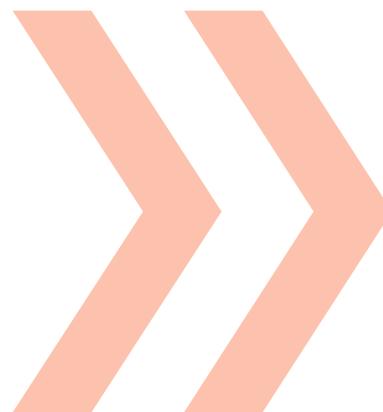
【CoCoTの事業の紹介2】

# 自己決定力を持つコミュニティの再生



自発的に活動を始めた  
町会・自治会

あんしん電話を  
ツールにした  
地域見守り活動



互いの関係で支  
えられている  
地域社会

自分たちの  
生きる世界を  
自分たちで  
作る活動

# 地域資源は人の力

ご利用は  
**無料**

(平成24年9月から実施中)

お互いに気兼ねなく利用出来る  
地域身守りシステム

**(1人暮らし)  
あんしん電話**

※「1人暮らしの方」、「高齢夫婦のみで心配な方」などが対象です

タイムリーな電話連絡で  
病状悪化を防止します！



皆様に「孤独ではない」  
「誰かに見守られている」  
という **安心感** を提供します。

地域社会を  
つなぐ絆に



# 地域見守りの仕組み

## 「(1人暮らし)あんしん電話」の流れ



# 医療機関と住民組織で作る地域見守り体制シンポジウム

まつど市民活動サポートセンター主催の「市民活動見本市サテライト企画」

## 医療機関と住民組織で作る地域見守り体制シンポジウム

医療機関と住民組織が、高齢者の見守りを行っている事例を発表します

あなたのまちにもあんしん電話!!

**第1部**

**基調講演 1**  
**地域の見守り体制を  
あんしん電話で作る**  
 登壇者 佐藤 浩二氏 (どうたの内科診療所 院長)

**基調講演 2**  
**梨香台団地事例から**  
 発表者 河野由紀子氏 (ニッセイエンゼルバーステーション 代表)  
 フォイカー 木戸寛子氏 (早稲田大学大学院 准教授)

**第2部**

**パネルディスカッション**  
**地域見守りに  
あんしん電話を  
導入した経験から**

パネラー  
 樋口剛氏 (まつど市 社会課)  
 廣瀬益知氏 (梨香台団地民生委員  
 活動委員協議会 会長)  
 石井しづ子氏 (梨香台団地 副会長)  
 三浦聡雄氏 (新相戸診療所 院長)

コメンテーター  
 斎藤 隆男氏 (梨香台団地 自治会長)

コーディネーター  
 小山 洋子氏 (NPO法人ニッセイエンゼルバーステーション 代表)

**第3部**

**まとめ**  
**超高齢化社会における  
地域見守り活動とその課題**  
 孤独死対策を通して考える

結城 康博氏 (慶徳大学社会学部 准教授)

**第4部**

**コーヒープレイク**  
**あんしん電話に取り組みたい方の交流会**

**日時** 平成25年 2月9日(土) 午後1時～午後4時 実行開始 12時30分

**会場** 聖徳大学生涯学習社会貢献センター 聖徳大学 T271-0032 千葉県柏市 1-16-3  
 (T271-0034 千葉県柏市 1-16-3)

**定員** 80名 抽選受付 締切日 2月4日(月)

**参加費** 無料

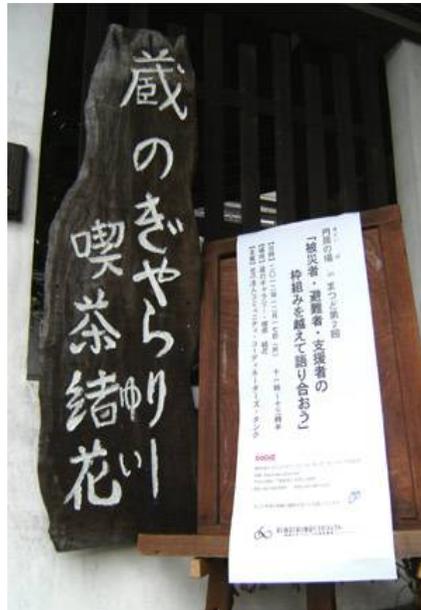
**対象** あんしん電話の導入に関心のある自治会関係者  
 NPO 市民活動団体

お問い合わせ先 地域活性化センター柏戸/NPO法人ニッセイエンゼルバーステーション CoCoT  
 〒271-0032 千葉県柏市 1-16-3 EDCO Me81 contact@npo-coact.com  
 TEL 047-369-8305 Fax 047-369-7445

協力 ニッセイ健康福祉財団 勇漢社 協賛



# 【CoCoTの事業の紹介3】 地域資源は町の歴史



役割を強めた人、役割をなくした人、  
役割に縛られてる人、役割にとまどう人...

まどい 震災後の暮らしを考える  
円居の場inまつど 第2回

3.11震災以降の私たちの暮らしは、  
「被災者・支援者」、「被災した人・しなかった人」、  
「活動した人・しない人」といった「枠組み」に、  
大きく影響を受けました。

蔵のギャラリーで  
珈琲・ミニランチ囲んで

## 被災者・避難者・支援者の 枠組みを越えて語り合おう



震災から1年9か月、  
3.11をきっかけに南相馬市から「避難中」の  
高田けいこさんと一緒に、  
「被災者」「支援者」という枠組みをほいて、  
震災以降の日本に生きる私たち、  
という共通の位置から、  
一人一人の暮らしの声を交じり合わせ  
震災後の暮らしについて、語り合いたいと思います。

円くなって語り合った後、  
蔵のギャラリー結花さん特製のミニランチで会食。  
その後、粘土ワークで想いを表現してみましょう。

第1部 高田さんを囲んで  
ミニランチ  
第2部 粘土ワークで想いを表現

ゲスト：高田けいこさん  
3.11をきっかけに南相馬市から流山に夫、  
子供4人と避難中。  
利根運河交流会館主催の「うんがいい！朝市」  
に、南相馬市の市民団体支援のブース『コオラク』  
出店中。流山コスベルママ『irlos』幹事

- ★日時：12月17日(月) 11:00～13:30
- ★会場：蔵のギャラリー・喫茶 結花  
(松戸市下矢切89-4 TEL047-361-2103)
- ★参加費：500円(ミニランチ代・要事前予約)
- ★申し込みは電話またはメールで下記連絡先まで



■主催：NPO法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンクCoCoT  
【申し込み・問い合わせ】  
地域活性化センター松戸 URL: <http://npo-cocot.com/>  
〒271-0092 千葉県松戸市松戸2050  
TEL 047-366-8909 または 080-5875-9910  
Email: madoi@npo-cocot.com

この事業は競輪の補助を受けて実施しています。



# 行動し始めた人々





# CoCoTの復興支援事業

## 1. いわきの広域復興支援体制と拠点構築事業

【社会福祉法人 中央共同募金会】

## 2. いわき小名浜地区の方とつくるテーマ型サロンの企画・運営事業

【公益財団法人 三菱商事復興支援財団】

## 3. 復興支援センター小名浜の運営と県外支援ネットワーク形成事業

【財団法人 JKA】

# いわき小名浜地区の方とつくる テーマ型サロンの企画・運営事業

## 事業計画： 被災者との共働

- 被災者と企画・運営
- 被災者の雇用
- 被災者の自立とエンパワメント



## 実施内容： 支援者の支援

- 現地支援者と企画・運営
- 現地コーディネーターの雇用
- 支援者の育成
- 支援者のメンタルケア
- 支援活動およびコミュニティ活動の継続に必要なテーマの抽出
- 支援者の自立とエンパワメント

# 企画チーム：メヒカリ会合

## 企画への参加

\* 月1回の会合とメールでの意見交換

## 会合日程

8月20日 5名 顔合わせ・課題出し

9月14日 1名 課題整理

10月10日 3名 課題整理

11月15日 3名 第1回座談会企画

2013年

1月24日 2名 第1回ふりかえり  
第2回の企画

チーム人数： 6名

抽出したテーマ：

- ①哲学：活動の意義を捉えなおす
- ②心のケアのあり方



# 円居の場inいわき第1回

## 開催概要

**テーマ:**コミュニティ活動と経済活動をつなぎあわせる

～哲学者 内山節氏とともに考える、

ふくしまから創造するこれからの社会～

**開催日時:**12月13日(木)18:30分～21:00

**会場:**いわき市文化センター

**参加人数:**15名

**アンケート回答数:**10名(男7,女3)

**参加者の居住地:**

福島県いわき市8, 無回答2

## 感想(アンケートより抜粋)

- ・市内に色々な活動があることを知った
- ・発想を柔らかくしていくのが大事だと思った
- ・ボランティアでも起業家的な思考を持つ必要性を感じた
- ・哲学カフェのような場、気軽に語り合える場が必要。



【CoCoTの事業の紹介4】

## コーディネーター育成講座

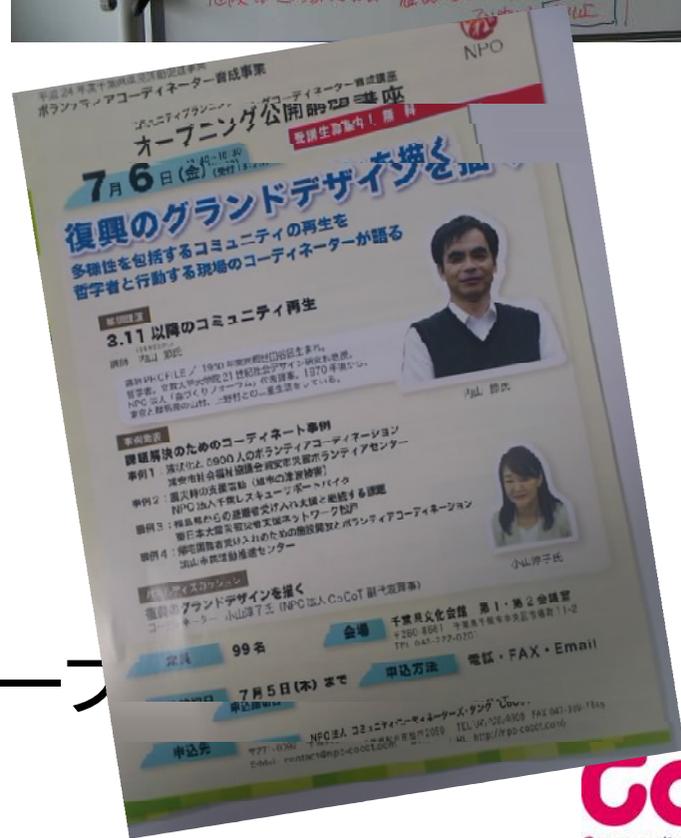
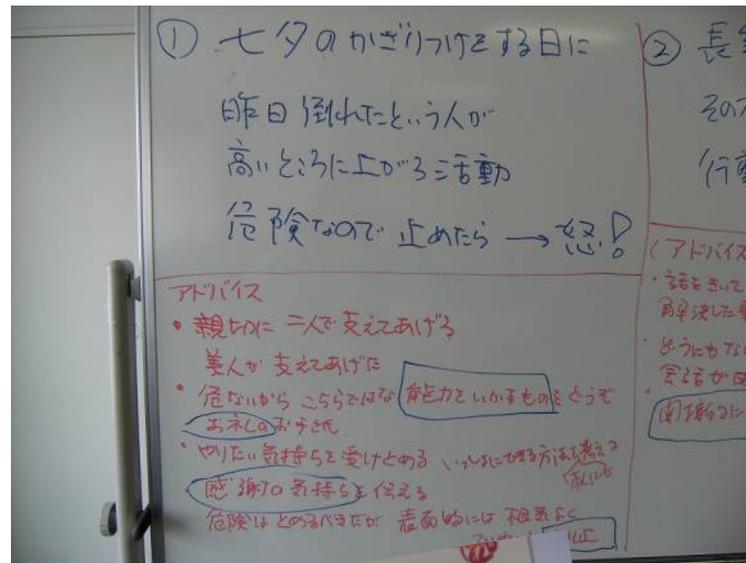
思いやミッションを持つ組織・人材

地域課題

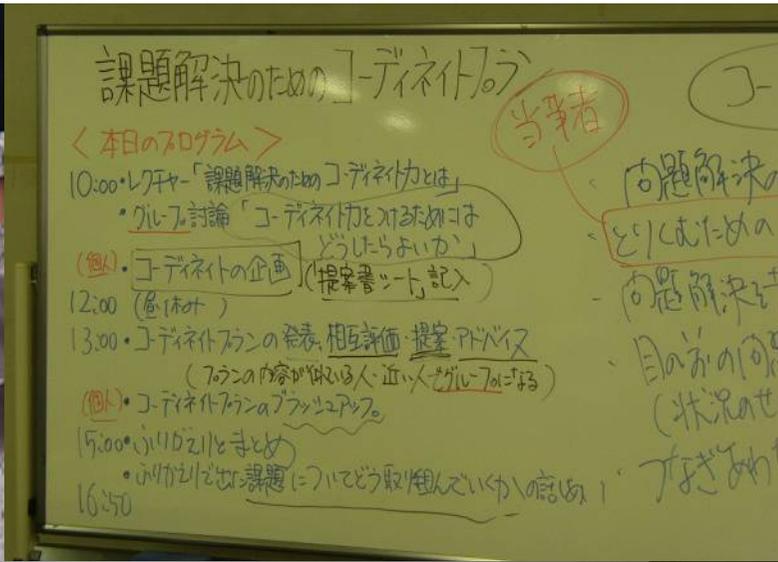
課題解決に向けての  
コーディネーション

企画やアイデアを  
持つ組織・人材

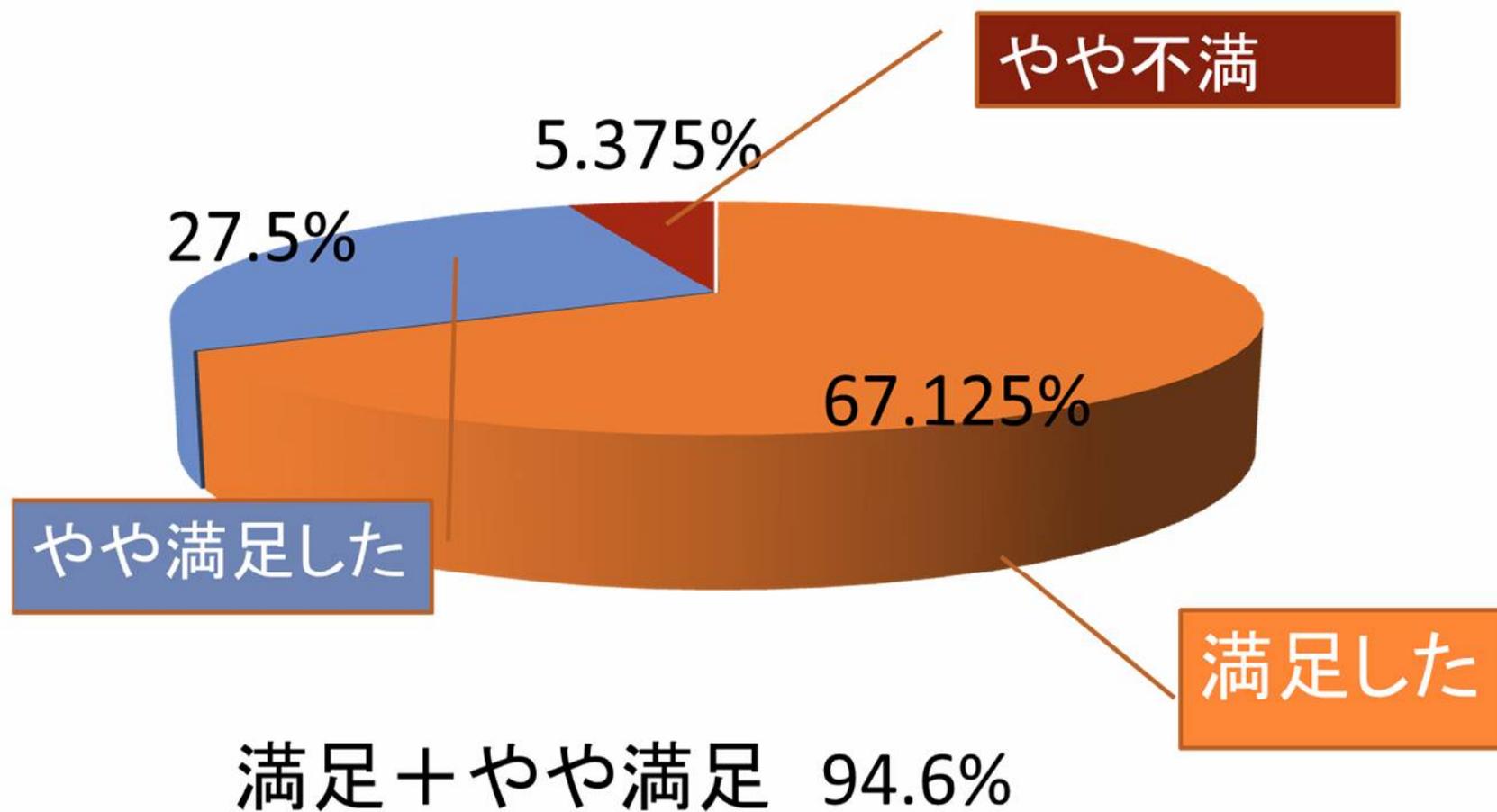
実施能力を持つ組織・人材



オープン



# 講座生の満足度

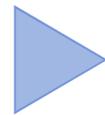




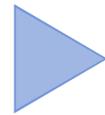
## ▶ CoCoTとセンターの成り立ち

# CoCoTの自己紹介

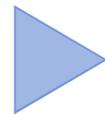
- まつど市民活動サポートセンターの設立に関わったメンバーが立ち上げました。



2003年10月  
公募市民による「松戸市パートナーシップ検討委員会」は、  
松戸市のパートナーシップの構築を目指し、  
サポートセンターをその推進拠点とすることを提言しました。

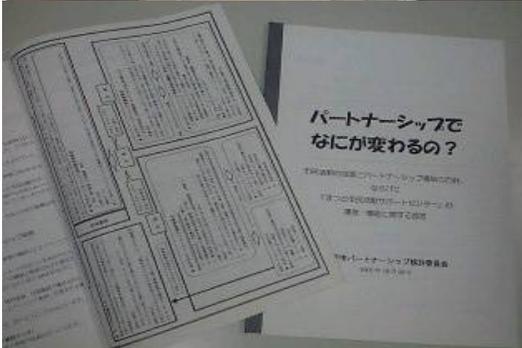


CoCoTは、元検討委員会のメンバーが代表・副代表を務め、  
この構想を受け継ぎ、事業展開することで実践していくNPOとして、  
2006年5月に、立ち上げられました。



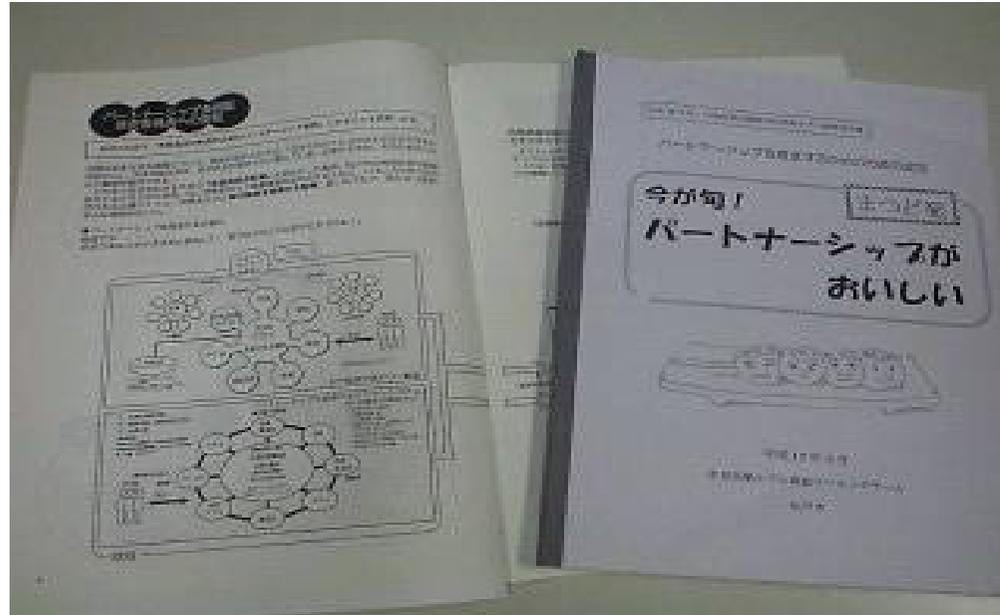
現在、社会的事業に取り組むNPOとして  
地域に密着した中間支援組織と  
コーディネーター専門職の集団を目指しています。

# 参考： 松戸市パートナーシップ検討委員会の活動



- ▶ 公募市民56名 学識経験者・専門委員各1名で構成。
- ▶ 1年5ヶ月 ワーキングチームミーティングを含め約180回会議を開催
- ▶ 検討テーマ
  1. 新しい時代のパートナーシップの構築に向けた基本的な理念や方針
  2. ボランティア・NPO等の公益的な市民活動が市内で益々発展するための方策」
  3. まつど市民活動サポートセンターの機能、管理・運営のあり方
- ▶ 平成14年11月19日『「(仮称)市民ボランティアセンター」の機能、管理・運営に関する中間提言』
- ▶ 平成15年1月 まつど市民活動サポートセンターが、旧健康増進センターの跡施設を利用しオープン
- ▶ 平成15年10月26日『市民活動の促進とパートナーシップ構築の方針、ならびに「まつど市民活動サポートセンター」の運営・機能に関する提言』

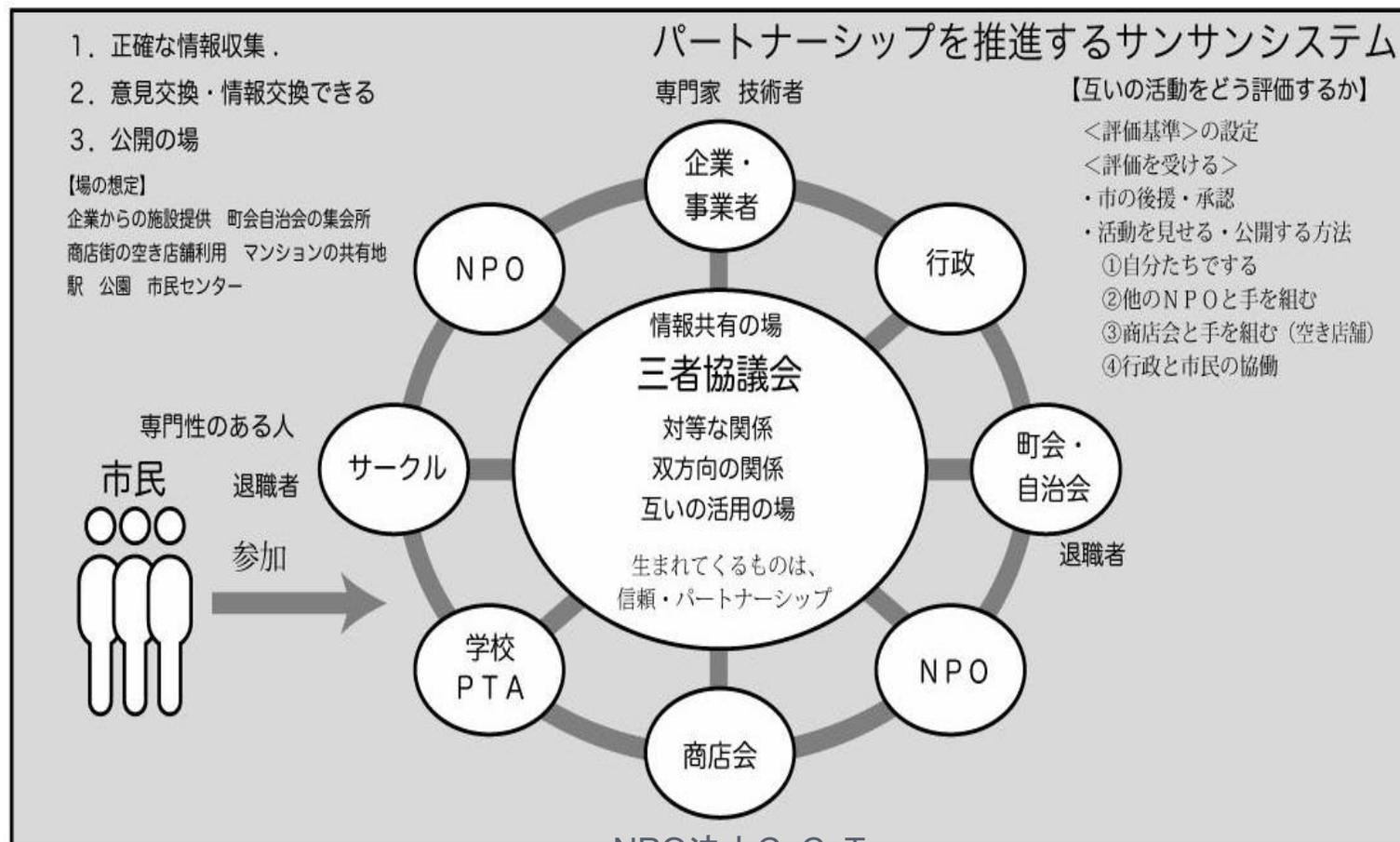
# 参考： 内閣府委託事業市民活動モデル調査研究事業



- ・市民と若手市職員で構成されたワーキングチーム
- ・パートナーシップを推進するための方策を提言
- ・市内64団体に、協働事例をヒアリング
- ・パートナーシップ条例策定員会に調査データを提供

# パートナーシップを推進するサンサンシステム

(2004年内閣府松戸市市民活動モデル調査概要版より)



# おおやけ(公)をつくる

CoCoTから社会変革をうねりを起こしましょう。

市民の手で、私たちが「公」をつくる。

支え手になってください！

- ★寄付をする
- ★会員になる
- ★ボランティアに参加する

皆さんの思いと力が必要です！